

土砂防だより



コスモスと富士山(御殿場市)

- 「土砂災害防止月間」の取組 2
 - ・土砂災害防止月間啓発活動の実施
 - ・急傾斜地パトロールの実施
 - ・市町等における広報活動の取組
 - ・令和2年度「土砂災害防止防止功労者表彰」伝達式
- コロナ禍での土砂災害対策等の取組 4
- 速報「令和2年7月豪雨」など多くの土砂災害が発生 6
- 「静岡県土砂災害警戒情報補足情報システム」の改修 8
- 令和元年度 砂防関係事業の代表的な完成箇所 9
- 県内の国が施行する(直轄)砂防事業の紹介(富士砂防事務所) 10
- わがまち(富士宮市) 11
- 歴史探訪 鮎沢川(酒匂川)水系の直轄砂防事業
- 募集・お知らせ 12

特集 「土砂災害防止月間」の取組
 コロナ禍での
 土砂災害対策等の取組

速報 「令和2年7月豪雨」など
 多くの土砂災害が発生



令和2年度 「土砂災害防止月間」

6月1日(月)～30日(火)

毎年、各地で発生する土石流、地すべり、がけ崩れなどの土砂災害により、多くの人命や財産が失われています。国土交通省と静岡県では、梅雨前線等により雨量が多く、地盤がゆるみ土砂災害が発生しやすくなる6月を「土砂災害防止月間」とし、土砂災害とその防止について県民の皆様の理解と関心を深めていただくため、様々な活動を行いました。

今年は、新型コロナウイルス感染拡大の観点から、例年と異なる取組を行っています。

主な活動

- 土砂災害防止月間啓発活動の実施
- 急傾斜地パトロールの実施
- 広報活動の取組
- 土砂災害防止に関する絵画・作文の募集及び展示
- 「土砂災害・全国防災訓練」の実施 など

令和元年に発生した土砂災害件数

	土石流	地すべり	がけ崩れ	計	死者 行方不明者
全国土砂災害発生件数	478件	99件	1,419件	1,996件	23名
静岡県土砂災害発生件数	6件	2件	79件	87件	0名



1 土砂災害防止月間啓発活動の実施

6月1日(月)、「土砂災害防止月間」の始まりに合わせ、JR静岡駅改札口前コンコースで啓発活動を実施し、県と国土交通省静岡河川事務所、静岡地方气象台、静岡市の職員14名が参加しました。

今年は、新型コロナ対策として、マスク着用、身体的距離の確保などに配慮するとともに、「ウイズコロナ」を踏まえた避難行動などを記載したチラシ等を配架し、録音したメッセージで「日頃の備え」と「早めの避難」を呼びかけました。



啓発活動の様子(静岡駅)

2 ～関係機関や砂防ボランティアとの協働～ 急傾斜地パトロールの実施

急傾斜地崩壊危険区域において、市町や警察、消防等の関係機関や砂防ボランティアと連携し、急傾斜地崩壊防止施設の異状の有無や法面の崩壊、排水路の機能状況等を点検する急傾斜地パトロールを実施しました。

施設の破損や小規模な崩壊などの、異状が確認された箇所については、施設の修繕や応急的な対策を実施していきます。

また、地域住民の皆様に対して、日頃から土砂災害の危険性のある斜面等について安全確認をして頂けるように県でチラシを作成し、周知を行いました。



急傾斜地パトロールの状況(三島市)

の取組

3 市町等における広報活動の取組

市町や土木事務所において、土砂災害防止の広報活動として、広報誌やホームページ等への掲載、庁舎の横断幕や懸垂幕等の掲示、公用車へのマグネットシートの貼付やポスターの掲示などに取り組んでいただきました。



懸垂幕掲示(森町)



令和2年度 土砂災害防止月間ポスター

広報誌への掲載	下田市、東伊豆町、南伊豆町、三島市、御殿場市、裾野市、長泉町、富士市、富士宮市、静岡市、焼津市、川根本町、菊川市、御前崎市、湖西市、静岡土木事務所、砂防課（15市町）
インターネットを活用した広報	南伊豆町、焼津市、湖西市、砂防課（3市町）
横断幕、懸垂幕、立看板の掲示	河津町、南伊豆町、西伊豆町、伊東市、伊豆市、伊豆の国市、函南町、富士宮市、静岡市、牧之原市、川根本町、磐田市、掛川市、袋井市、菊川市、森町、御前崎市、浜松市、砂防課、熱海土木事務所、沼津土木事務所、静岡土木事務所、袋井土木事務所（18市町）
ポスター掲示	各市町関係機関、県内セブンイレブン約750店舗、砂防課、各土木事務所

4 令和2年度「土砂災害防止功労者表彰」伝達式

6月25日(木)に小山町役場の会議室で、令和2年度「土砂災害防止功労者表彰」伝達式を行いました。

国土交通省では、土砂災害防止に関して顕著な功績があった、個人や団体に対し大臣表彰等を行っていますが、今年度は新型コロナ対策として、土砂災害防止の全国大会が中止となったため、県から表彰状をお渡ししました。

令和2年度の大臣表彰は全国で個人3名、団体5組が選ばれ、そのうち小山町の内田 肇(うちだ はじめ)さんは14年ぶり10人目となる県内の個人の部での表彰です。

内田さんは、令和元年東日本台風(台風19号)に伴う豪雨の折、自宅裏の水路から水があふれるなど、周囲の危険な状況に気付き、特別養護老人ホーム「平成の杜」の職員や近隣の住民に声をかけて避難を促しました。

声かけを受けた施設の職員は、1階にいた入居者をより安全な2階へ迅速に避難させ、全員の避難が完了した直後に土石流が発生しました。内田さんの行った声かけが、土砂災害による人的被害を未然に防止し、地域住民の生命又は身体の保護に顕著な成果をあげたと大きく評価されました。



伝達式の状況



土砂流入状況

コロナ禍での土砂災害対策等の取組

土砂災害・全国防災訓練の実施

～普段の備えが、命を守る～

6月7日(日)の全国統一実施日を中心に、「土砂災害・全国防災訓練」を実施しました。今年度は新型コロナ対策として、住民の避難を伴う訓練は取りやめ、各関係機関との情報伝達訓練を中心に行うとともに、激甚化する豪雨に備えて、地区内の危険箇所点検、避難所の設営や防災ヘリを活用した孤立集落住民の救助訓練等を行いました。さらに、住民に対しては、コロナ禍に加え、神奈川県逗子市における斜面崩壊事故も踏まえ「土砂災害防止啓発チラシの回覧」や「ハザードマップの確認」などを呼びかけ、日頃から土砂災害に対する警戒を緩めないよう注意喚起を促しました。



新型コロナウイルス対策を踏まえた避難所運営訓練 (6月7日:函南町)

訓練の状況



地域内の危険箇所点検 (6月7日:島田市)



避難所検証会 (6月29日:小山町)



防災ヘリによる孤立集落住民の救助訓練(6月7日:焼津市)



情報伝達訓練 (6月7日:下田市)

「土砂災害防止啓発」のチラシの回覧

コロナ禍においても避難行動を躊躇することがないよう、新型コロナ対策としての避難方法や神奈川県逗子市における斜面崩壊事故を踏まえた、家の周りの土砂災害の危険性を確認して頂くために県でチラシを作成し回覧を行いました。



静岡県支部通常総会を书面開催

5月19日(火)に開催を予定していた全国治水砂防協会静岡県支部の令和2年度(第75回)通常総会は、新型コロナ対策として、書面による決議を行いました。

書面による議案の審議が行われ、令和元年度の事業報告と収支決算報告、本県の砂防関係事業の普及発展を図る令和2年度の事業計画と収支予算が原案どおり承認されました。

異例の対応とはなりましたが、滞りなく総会の書面開催が行われたことを、関係各位に感謝申し上げます。

全国治水砂防協会通常総会が開催される

5月28日(木)、(一社)全国治水砂防協会の令和2年度(第84回)通常総会が、砂防会館別館で開催されました。

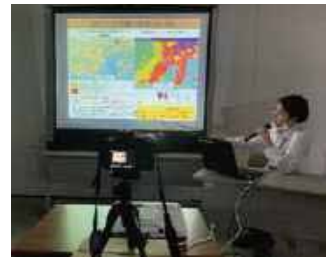
今年度は、新型コロナ対策として最小限の人数で開催するとの本部の意向から、当支部では、各会員が委任状を提出するとともに、支部長名で祝電を出させて頂きました。

議案の審議では、令和元年度の事業報告と収支決算報告、全国の砂防関係事業の拡充・促進を図る令和2年度の事業計画と収支予算が原案どおり承認されたとの報告を受けています。

市町防災担当職員向け動画の配信を行いました!

砂防課では、例年、土砂災害対策に関する取組を進め、県・市町の関係部局が連携していくことを目的として、出水期前に「土砂災害に対する警戒避難体制の説明会」及び「市町等砂防担当職員研修」を開催しています。本年も同様に開催する予定でしたが、新型コロナ対策として、説明会形式での開催を取り止め、代わりとして、市町防災担当職員向けの動画の配信を行いました。

動画では、土砂災害警戒区域の指定が昨年度末をもって完了したことから、今後、県と市町が一体となって取り組むべき警戒避難体制の整備や、土砂災害警戒情報補足情報システムの使い方などの説明とともに、静岡地方気象台から静岡の気象状況や土砂災害警戒情報の発表基準の変更などについての説明を収録しました。



動画の撮影状況

河川砂防局若手職員で「事前に備える防災講座」を作成しました!

河川砂防局では、激化する豪雨災害に対し、河川施設や土砂災害防止施設の整備などのハード対策を進めるとともに、住民の防災意識の向上を図るための出前講座や研修会、避難訓練などのソフト対策を実施してきました。

本年度は、新型コロナ対策として、多くの人が参加する会議や訓練をこれまでどおり実施することが極めて厳しい状況にあります。

梅雨や台風シーズンを迎える中、新型コロナ対策として提唱された「新しい生活様式」を踏まえ、住民が風水害や土砂災害の恐ろしさを知り、「自らの命は自らが守る」という意識を持てるよう新たな動画「事前に備える防災講座」を作成し、YouTubeの県公式チャンネルやどほくらぶチャンネルで配信を始めました。現在は4本を配信しています。

今後は、「土砂災害」や「河川監視カメラ、水位」などについて、説明した動画を作成していく予定です。

	サムネイル	掲載内容		QRコード
防災講座①				
防災講座②				
防災講座③				
防災講座④				

「令和2年7月豪雨」など 多くの土砂災害が発生

今年の7月は、県下全域において、平年比300%を越えるような降雨量が観測され、県内30箇所のうち25箇所の観測所で月降水量の最大値を更新しました。7月の土砂災害警戒情報の発表は、10回、97地区にのみ、例年の年間発表数を上回るものでした。

令和2年は7月末時点で、「令和2年7月豪雨」を中心に、県内各地で44件(土石流等:6件、地すべり:3件、がけ崩れ:35件)の土砂災害が発生し、人家半壊2戸、一部損壊3戸の住宅被害がありました。幸いにも人的被害はありませんでした。

このうち、地すべり2件、がけ崩れ3件については、緊急的な対策が必要として、国から事業採択を受け、対策工事を実施いたします。また、土砂災害が発生した44件のうち3件は、既設の擁壁等が土砂や倒木を食い止め、人家等への被害を軽減したことが確認され、土砂災害防止施設が地域の安全度を着実に向上させるストック効果を発揮しています。

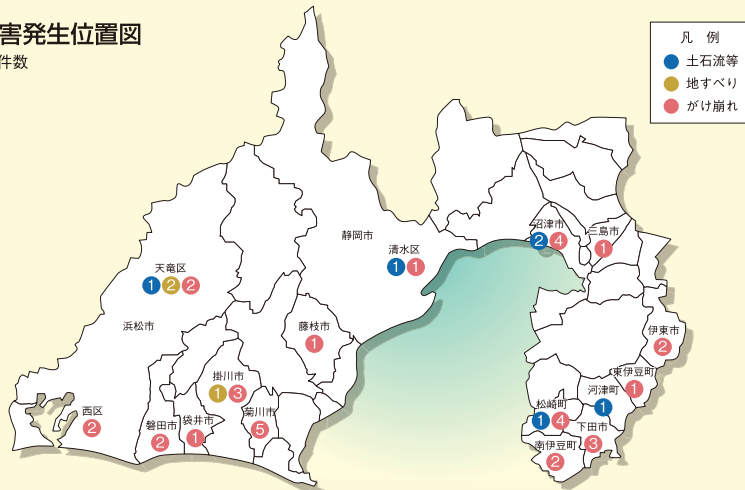
県では、引き続き砂防堰堤等の施設整備を進めていくとともに、県民の皆様の日頃の備えや適切な避難を実行して頂くため、的確な情報提供や土砂災害に関する啓発活動に努めていきます。

令和2年 土砂災害の発生状況(国交省所管) 7月末時点

種別	年次	令和2年							計
	発生日	1月28日	3月29日	5月30日	6月19日	6月29日 ～7月1日	7月4日 ～7月28日		
	原因	不明	豪雨	不明	梅雨前線 豪雨	梅雨前線 豪雨	令和2年 7月豪雨		
土石流等	発生件数					1	5	6	
地すべり	発生件数					1	2	3	
がけ崩れ	発生件数	1	1	1	1	4	27	35	
計		1	1	1	1	6	34	44	
内施設効果あり		0	0	0	0	0	3	3	

土砂災害発生位置図

※数字は発生件数



土石流(賀茂郡松崎町南郷) 砂防堰堤により流出土砂を捕捉



地すべり(浜松市天竜区水窪町奥領家)

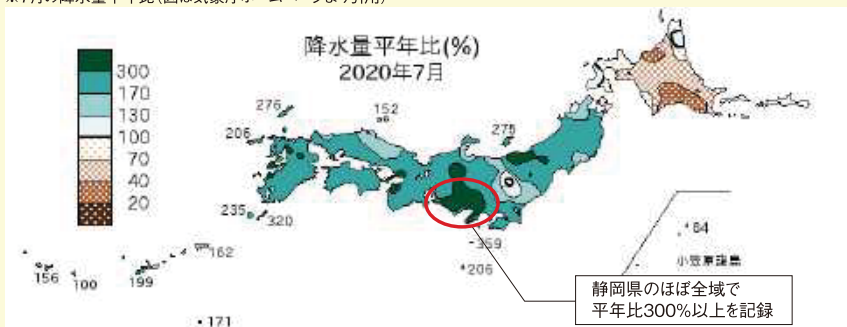


がけ崩れ(賀茂郡松崎町雲見) 崩壊土砂を食い止め、人家被害を軽減

7月の降水量データ(気象台観測記録)

観測地点		佐久間	松崎	石廊崎	菊川牧之原
日降水量 (最大)	観測日	7月6日	7月17日	7月18日	7月27日
	雨量(mm)	238.0	109.0	193.5	155.0
	月間順位(7月)	1位	—	4位	2位
	年間順位	6位	—	—	—
月降水量	雨量(mm)	1285.5	741.5	686.0	873.5
	月間順位(7月)	1位	1位	2位	1位
	年間順位	1位	1位	2位	1位
	平年値(mm)	279.6	227.7	186.2	243.0
	平年比	459.8%	325.6%	368.4%	359.5%

※7月の降水量平年比(図は気象庁ホームページより引用)



静岡県のほぼ全域で平年比300%以上を記録

地すべりが発生した

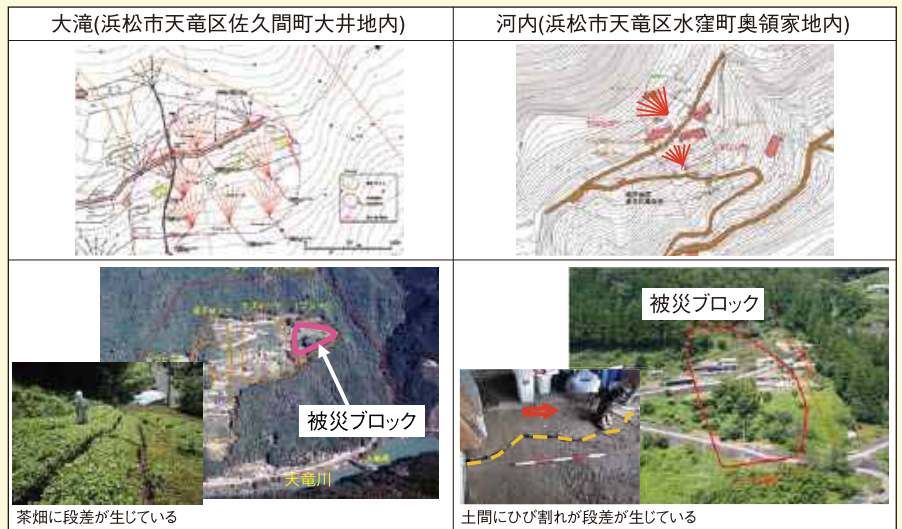
おおたき かうち

「大滝、河内(浜松市天竜区)」で災害関連緊急地すべり対策事業 が採択

7月上旬の梅雨前線豪雨により浜松市天竜区の「大滝(佐久間町大井地内)」及び「河内(水窪町奥領家地内)」において、地すべりが発生しました。緊急的に対策を行う必要があるため、災害関連緊急地すべり対策事業実施の手続きを進め、採択されました。今後、詳細設計や用地の取得等を早急に進め、地すべり対策工事の早期完成を目指します。



箇所名	工種名	計画諸元	保全対象	採択額(百万円)	所管省庁
大滝	横ボーリング工 銅管杭工ほか	L=2,120m D=20.5m×75本	人家6戸、(-)天竜川 国県道 L=320m	654.000	国土交通省 R2.8.20採択
河内	横ボーリング工	L=348m	人家4戸 市道 L=100m	17.142	林野庁 R2.9.14採択



がけ崩れが発生した

ながた

おおせ

いけしろ なかむら

「長田A(下田市)」「大瀬(南伊豆町)」「池代中村(松崎町)」で災害関連緊急急傾斜地崩壊対策事業 が採択

7月17日～18日等の梅雨前線豪雨により「長田A(下田市白浜地内)」 「大瀬(南伊豆町大瀬地内)」 「池代中村(松崎町池代地内)」において、がけ崩れが発生しました。早急に再度災害を防止するため、災害関連緊急急傾斜地崩壊対策事業実施の手続きを進め、8月20日に採択されました。今後、詳細設計や用地の取得等を早急に進め、急傾斜地崩壊対策工事の早期完成を目指します。

箇所名	工種名	計画諸元	採択額(百万円)	保全対策
長田A	法面工	A=370㎡	71.24	人家5戸
大瀬	法面工	A=370㎡	69.16	人家5戸
池代中村	法面工	A=550㎡	86.60	人家5戸



早期避難を後押しする

『静岡県土砂災害警戒情報補足情報システム』の改修

■土砂災害警戒情報補足情報システムとは

県では、静岡地方気象台と共同で土砂災害警戒情報を発表しています。また、土砂災害警戒情報を補足し、より詳細な情報を提供する「土砂災害警戒情報補足情報システム」を運用しています。

近年、局地的豪雨や台風等に起因する豪雨により、大規模な土砂災害が全国各地で発生しており、土砂災害警戒情報等の防災気象情報の重要性が再認識されています。

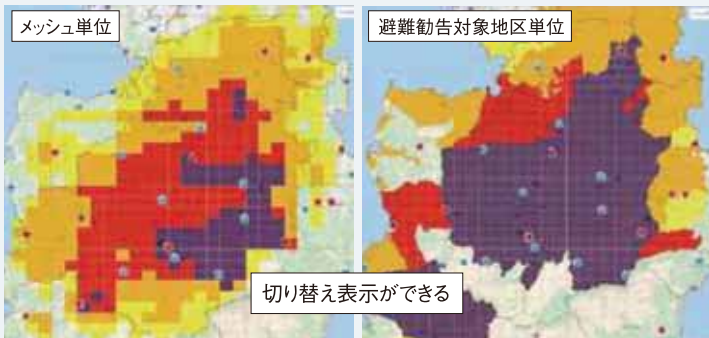
そこで県では、「土砂災害警戒情報補足情報システム」をより使いやすく誰もが理解しやすい内容とするため、これまでのホームページに加え、スマートフォン版を開設し、土砂災害への警戒レベルが高まっていく状況を、これまでのメッシュ単位に加え、避難勧告対象地区単位でも表示できるようにするとともに、多言語化表示等の改修を行いました。

■改修項目

○補足情報システムの表示に関する項目

- ・避難勧告対象地区単位での危険度表示
- ・多言語化(英語、ポルトガル語)
- ・指定緊急避難場所の表示
- ・大雨警戒基準、大雨注意報基準の表示
- ・地震時の暫定基準対応

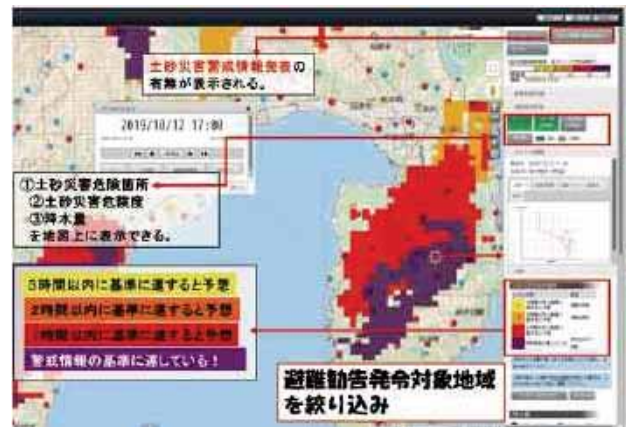
○代表例その1 避難勧告対象地区単位での危険度表示



○代表例その2 多言語化(英語、ポルトガル語)



■現行の土砂災害警戒情報補足情報システム



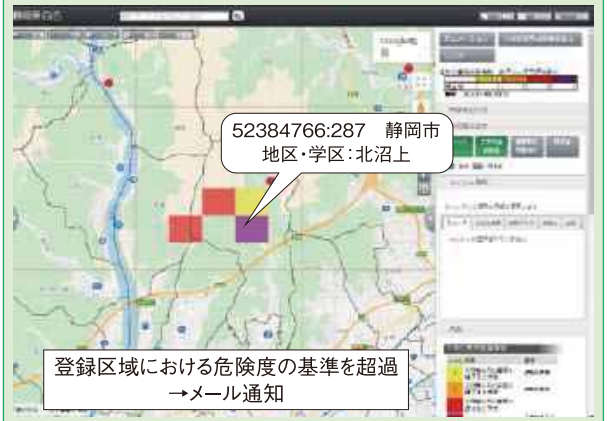
○補足情報システム表示外の項目

- ・スマートフォン版の開設
- ・メッシュ着色時のメール通知
- ・ページ表示速度の向上

○代表例その1 スマートフォン版の開設



○代表例その2 メッシュ着色時のメール通知



静岡県土砂災害警戒情報補足情報システム

右記のQRコードを読み取るか、ブラウザで下記のURLを入力してください。

【パソコン、スマートフォン共通URL】 <https://www.gis.pref.shizuoka.jp/?mp=9004-1&>



砂防関係事業の代表的な完成箇所

砂防事業

おとこやまさわ

●男山沢 砂防堰堤工(伊豆の国市南江間 地先)



男山沢では、砂防堰堤1基を整備し、人家19戸と県道静浦港菰山停車場線の保全を図りました。

ぶったいかいとさわ

●仏体飼戸沢 砂防堰堤工(藤枝市岡部町内谷 地先)



仏体飼戸沢では、砂防堰堤1基を整備し、人家39戸と市道の保全を図りました。

急傾斜地崩壊対策事業

やはたのむかいまち

●八幡野向町 法面工(伊東市八幡野 地内)



八幡野向町では、急傾斜地崩壊対策工事として法面工を整備し、人家11戸の保全を図りました。

ひがしうんな

●東雲名 集水井工(浜松市天竜区東雲名 地内)



東雲名では、集水井工等を整備し、人家14戸と県道大輪天竜線、一級河川平沢川の保全を図りました。

※令和元年度に工事を実施し、完成した箇所

事業名	箇所名	事務所名	位置	事業費(百万円)	着手年度	事業概要
砂防	男山沢	沼津土木	伊豆の国市南江間	157	H26	砂防堰堤工 H=7.0m、L=78.0m
	木ノ宮沢	沼津土木	沼津市下香貫木ノ宮	223	H26	砂防堰堤工 H=10.5m、L=38.5m
	静居寺沢	島田土木	島田市伊太	160	H24	砂防堰堤工 H=6.0m、L=34.0m
	仏体飼戸沢	島田土木	藤枝市岡部町内谷	100	H26	砂防堰堤工 H=6.0m、L=39.0m
急傾斜地崩壊対策	八幡野向町	熱海土木	伊東市八幡野	357	H22	法面工 L=107m
	桂山沼側	静岡土木	静岡市葵区桂山	82	H25	擁壁工 L=47m
	小河内番古	静岡土木	静岡市清水区小河内	415	H22	擁壁工 L=512m
	川原平 a	島田土木	藤枝市瀬古	176	H27	擁壁工 L=265m
	小浜アハラ	島田土木	焼津市小浜	262	H25	擁壁工 L=319m
	東組 B	袋井土木	菊川市下平川	195	H28	擁壁工 L=165m
	船明山下	浜松土木	浜松市天竜区船明	189	H24	擁壁工 L=289m
	禿石	浜松土木	浜松市天竜区渡ヶ島	204	H27	擁壁工 L=67m
地すべり対策	東雲名	浜松土木	浜松市天竜区東雲名	307	H24	集水井工 N=4基・水抜きポーリング工3基
	代古根	西部農林	浜松市天竜区春野町堀之内	120	H26	集水井工 N=1基・水抜きポーリング工2基
	横舟	中遠農林	御前崎市上朝比奈	150	H24	集水井工 N=1基・水抜きポーリング工4基

県内の国が施行する(直轄)砂防事業の紹介 (国土交通省富士砂防事務所)

「富士山と地域を守る」

富士砂防事務所では、日本有数の大崩壊地である「大沢崩れ」の対策をはじめとする南西野溪における降雨に起因する火山砂防事業や、富士山麓全周を対象とした火山噴火を起因する緊急減災対策、日本の大動脈が集中している静岡市清水区由比での地すべり対策事業の3つのプロジェクトを進めています。

富士山火山砂防事業 ～富士山の土砂災害を防ぐハード対策～

富士山には八百八沢と呼ばれるほど多くの溪流が存在し、麓の地域では古くから雪代(スラッシュ雪崩)や土石流などにより大きな被害を受けてきました。中でも富士山西斜面に位置する大沢崩れは日本有数の大崩壊地であり、近年においても平成12年、平成16年に土石流が発生するなど、依然として活動的な崩壊が続いています。

富士山大沢川の直轄砂防事業は昭和44年度から着手し、富士山南西麓の各溪流において、砂防施設の整備を行っており、平成30年度より降雨に起因する土砂災害対策(降雨対策)に加えて、火山噴火に起因する土砂災害対策(噴火対策)に着手しています。



鞍骨沢遊砂池(R1完成)



大型ブロックの備蓄状況

火山噴火に対する防災対策 ～噴火による土砂災害から命を守るソフト対策～

ソフト対策としては、火山や溪流を監視するカメラ、土石流検知センサー等の観測施設等の設置について関係機関と連携を図りながら整備を進めます。緊急時には噴火時の被害想定をリアルタイムハザードマップとして関係機関に提供すると共に、降灰後の土石流については緊急調査を実施し、被害の想定される区域・時期の情報(土砂災害緊急情報)を市町及び県に通知します。

由比地すべり対策事業 ～日本の大動脈を守る～

由比地区は日本の大動脈である国道1号・東名高速道路・JR東海道本線などが集中する交通の要衝となっています。一方でこの地域では古くから多くの土砂災害に見舞われており、昭和36年の寺尾地すべりや昭和49年の七夕豪雨による地すべりなど、大きな被害を受けてきました。

この由比地区(サツ山)において、大規模な地すべり地形が確認され、今後予想される豪雨や南海トラフ巨大地震により大規模な地すべりが発生する恐れがあるため、平成17年度より直轄地すべり対策事業を実施しています。



地すべり区域と重要交通

富士宮市

富士宮市は静岡県東部に位置し、北方に世界文化遺産である富士山を有し、またその構成資産である富士山本宮浅間大社・山宮浅間神社・村山浅間神社・人穴富士講遺跡・白糸ノ滝といった文化的資産を擁します。

富士山との関わりが深く、現在富士登山道の1つである富士宮口を構える富士山の南の玄関口にあたります。富士山の湧水が豊富であり、製紙業や医療用機器など水に関する工業が盛んである他、観光も盛んであります。

市北部には朝霧高原が広がり、その周辺には白糸の滝・音止めの滝、ダイヤモンド富士のスポットとして知られる田貫湖といった自然観光地を持ちます。

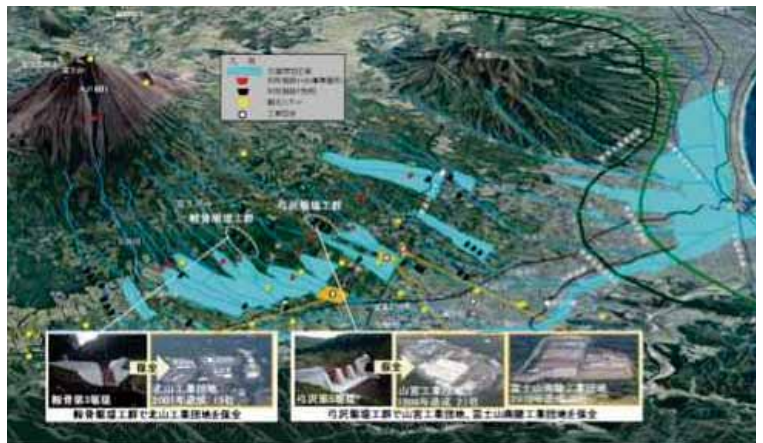
平成25年6月に富士山が世界文化遺産に登録されてから7年が経過し、構成資産やアクセス道路の整備も着々と進んでいるとともに、平成29年12月23日には静岡県富士山世界遺産センターが開館し、国内外からの更なる集客が期待されます。

当地域は、富士山南西山麓一帯に広がり水と緑に恵まれている反面、八百八沢と呼ばれるほど多くの沢や野溪が存在するため、水害や土砂災害の影響を受けやすい地形であります。

さらに、近年の河川流域の急激な開発と利便性の追及は、河川を取り巻く自然環境に大きな影響を及ぼし、予期せぬ災害を引き起こしかねません。

また、当地域には、新東名高速道路、国道469号(富士南麓道路)等の広域的な緊急避難路としても重要な社会資本があり、土砂災害等が発生するとその被害は甚大を極めるものと予想されます。

河川砂防事業及び急傾斜地崩壊対策事業は、災害から県民の生命・財産を守り、安全で豊かな地域づくりを進めるための社会基盤を整備する根幹的事业であり、引き続き砂防事業の促進をお願いいたします。



歴史探訪

鮎沢川(酒匂川)水系の直轄砂防事業

県内の直轄砂防関係事業は、現在、砂防3水系、地すべり1区域で事業を実施していますが、かつて鮎沢川(酒匂川)水系でも直轄砂防事業が実施されていました。河川名は静岡県内では「鮎沢川」、神奈川県内では「酒匂川」となります。

大正12年9月1日に相模湾北部を震源とするM7.9の関東大震災により、神奈川県西部から静岡県駿東郡小山町の山間部で多くの山腹崩壊が発生し、甚大な被害となりました。このため、大正13年4月から震災復旧砂防事業として、内務省東京土木出張所(現国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所)による酒匂川水系直轄砂防事業が行われました。

小山町においては、大正14年5月に湯船澤堰堤(湯舟川)に着手し、昭和6年6月の峯坂堰堤(野沢川)の竣工まで、計6基の砂防堰堤を施工しています。まもなく関東大震災から100年を迎えますが、今なお、当時の砂防堰堤の姿をとどめており、地域を守り続けています。

	溪流名	高さ	長さ	竣工
湯船澤堰堤	湯舟川	8.0m	43.0m	大正15年2月
湯船澤上流堰堤	湯舟川	6.3m	25.0m	昭和4年11月
湯船澤下流堰堤	湯舟川	5.0m	23.0m	昭和5年6月
小野畑堰堤	小野畑沢	7.0m	24.6m	昭和5年9月
山口堰堤	野沢川	6.0m	28.0m	昭和6年4月
峯坂堰堤	野沢川	7.0m	34.7m	昭和6年6月



湯船澤堰堤

【令和2年度】土砂災害防止啓発用品の紹介等

当支部では、土砂災害防止啓発のため、下記の啓発用品を作成・配布しました。御活用いただきありがとうございます。



募集・お知らせコーナー

市町等砂防担当職員研修(現場研修)のお知らせ

土石流、がけ崩れ、地すべりといった土砂災害について、日頃から業務を担当している市町等の職員向けに現場研修を行います。

【視察場所】浜松土木事務所管内(湖西市、浜松市北区、浜松市天竜区)

砂防、地すべり、急傾斜(特定利用斜面保全事業)の現場

【募集人員】30名

【日 時】令和2年11月13日(金) 10:00~17:00(少雨決行)

【問 合 せ】全国治水砂防協会静岡県支部 TEL(054)221-3042



出前講座・土砂災害防止講習会の開催募集

土砂災害に関する出前講座・講習会を開催しませんか?県の砂防課や土木事務所の職員が講師として説明に伺います。お気軽にお問合せください。

【出前講座の対象】小学生~高校生

【講習会の対象】どなたでも

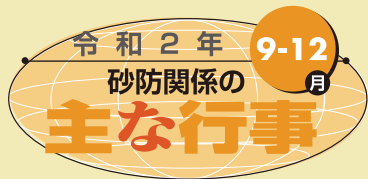
【開催日時】相談ください

問合せ

静岡県交通基盤部河川砂防局砂防課

TEL(054)221-3044

E-mail sabo@pref.shizuoka.lg.jp



- 11月 5日(木) 東海地区治水砂防協会支部長・砂防課長合同会議(三重県内)
- 11月13日(金) 市町等砂防担当職員現場研修
- 11月19日(木) 全国治水砂防促進大会(砂防会議)
- 11月19日(木) 静岡県支部砂防関係事業促進要望(議員会館等)



【表紙写真】

コスモスと富士山

(撮影地:御殿場市)

写真提供:静岡県観光協会

※砂防協会では表紙に掲載する静岡県内の写真を募集しています。皆様のご協力をお願い申し上げます。詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。

編集・後・記

6月1日(月)に、JR静岡駅改札口前コンコースで実施された「土砂災害防止月間」街頭キャンペーンに参加しました。新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮し、通勤・通学の皆さんにリーフレットや啓発グッズを配架し、土砂災害防止対策についての広報を行いました。

これから台風が多い季節となります。近年豪雨による被害が増えています。早めの避難を心がけましょう。今後も土砂災害を防ぐ取り組みについて、わかりやすい広報に努めますので、今後とも「砂防だより」をご愛読いただきますよう、よろしくお願いいたします。

砂防だよりは砂防課ホームページでご覧いただけます。 <https://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-350/index.html>